鐘華会九州支部だより

九州支部だより 第 31 号 発行 2016 年 11 月 20 日 発行人 中村 晃

3連続のホールインワン

真部 邦則



『序章』 この物語は嘘の ような真実を書いた物であ る。夢であれば時間が過ぎ れば忘れ去るものである が、未だに夢から覚めずに いる。ゴルフのショートホ ールでは第一打がカップに

入ることをホールインワン(エース)と言う。その確率は、12,000回に一度と言われており、年間100ラウンドして30年に一度のものである。これを7月27日から8月19日の間に3回も達成してしまった。人生で2回目のエースは、約11年前にアメリカで達成したが、定年後に大分に帰り、年間100ラウンド程度のゴルフを満喫していたが、全くエースとは無縁のゴルフをしていた。

『第一章』 7月27日: 臼杵CC16番ホール148ヤード、8番アイアンで打ったボールがエッジに落ち、綺麗なラインでカップインした。人生3回目である。事務所からスタッフが駆けつけてホールインワンを認定してくれた。ホールインワン保険に入っていたことから、三井住友海上火災から申請書類を送ってもらった。ところが、キャディが居なかったこと、前後のプレーヤーがエースを目撃していなかったことから、保険会社からの保障は受けることができなかった。残念というか、口惜しいというか、こんな保険は辞めてしまおうと決心した。ゴルファー保険の特約で、年間2,800円でホールインワンは20万円の保障である。

『第二章』 たまたま高専同期のゴルフコンペが翌週(8月4,5日)にあったため、阿蘇高森GCに保険の申請書類を持っていき、あんなこんなで保険が適用されないことをみんなに説明して、うっぷんを晴らした。ところがである。7番ホール160ヤード、8番アイアンで打ったボールがダイレクトにカップインしてしまった(添付写真)。

全体で3組のコンペで、前の組が打てと合図してくれ

たこと、後ろの組がショットを見ていたことから、送ってもらった申請書類を使って保険会社にファックスすると、保障されることになった。決心した保険の停止は何処かに行ってしまったのである。そして、最初のホールインワンを認定した臼杵CCから、卵一年分が贈呈されると連絡があった。何と!毎月160個×12ヶ月=1,920個であった。

『第三章』 保障される保険は、コンペ費用や宴会で使って、その領収書を保険会社に送ってから銀行振込となる。そのためにみんなでゴルフコンペをしようではないか、と打ち合わせを兼ねて8月19日にアイランドGC大分にゴルフに行った。誰を呼んて、どんな商品をつけようか?とか何とか喋りながらラウンドしていると、4番ホール128ヤード、9番アイアンで打ったボールが綺麗な放物線を描き、1から3バウンドでカップインしてしまった。キャディ無し、前後の組無しのため、保険の申請はやめた。「二週連続のホールインワンで、真部は大丈夫か?」と友人達は心配してくれたが、三度目があったので、これで安心した次第である。

『ホールインワンコンペ』 9月14日に湯布院CCレイクサイドで「真部邦則二週連続ホールインワンコンペ」を開催した(添付写真)。一人5,000円×14名、残りを賞品として、又、卵30個ずつを全員に配った。天気予報は雨であったが、雨無しのままで盛況なゴルフコンペとなり、友人達に感謝、感謝、である。



激変した日々の生活 成相 定雄



鐘華会九州支部の皆さんとは大変ご無沙汰 しております。

例会の参加も滞り、新入会員の方々ともご 挨拶出来ず失礼しています。

この度、近況報告の機会を戴きましたので、 日々の活動を思いつくままに書き綴って見ま した。

昨今、日常生活のリズムに影響しているのは、平成24年末より始めました血液透析です。

毎週火、木、土の日に、朝8時頃出かけ午後3時頃に帰ってくることの繰り返しです。

このことは、日祝日、盆正月も全く関係なしです。従って、透析の日は殆どまとまったことはできず、一日が早く終わってしまい、故に透析をする前より一週間、一か月、一年が非常に早く過ぎ去る感じがします。

又、透析日と透析日の間の透析なし日は2日間までで、旅行であれば1泊2日までそれ以上になれば旅行先で透析をする必要があります。

又、昨年(平成27年8月)妻を亡くした ことにより、日常的な様々な用事が否応なく 我が身にかぶってき、今まで自分なりにつく ってきた生活リズムが全く狂ってしまい、 この一年間は日常生活を安定するため色々試 行錯誤を繰り返していました。 この1年間で特に新しく発生した日常業務 は次のようなものです

- 1. 妻の死去に伴って入信した浄土真宗大 谷派の諸行事
- 2. 妻が行っていた日常業務
 - ○炊事、洗濯、掃除、庭の草取り
 - ○食材他の買い物-
 - ○慶弔事項
 - ○寝具類の整理、季節の衣類の取り 替え
 - ○衣類の季節ごとのクリーニング
 - ○障子の張替え
 - ○年末、年始の食事等の準備等々

今まで、主として自分がすべきことを中心 に考えてきましたが、当然前 2 項についても 実行する必要がでてきました。

この中でも毎日必ず実行するものと、タイミングを見ながらするものがありますが、うっかりタイミングをずらすととんでもない事になることを思い知らされました。

例えば、庭木や雑草ですが当然生き物ですからどんどん成長するものです。諸事にかまけて手入れをしなかったら庭木もさることながら、雑草が子供の背丈まで伸び、あたり一面を覆いつくしたのにはびっくりしました。

慌てて植木屋さんをいれ、私も真夏の炎天下で草抜をしました。流れ出た汗で 2 kgやせたこともあります。

又、娘が勤めながら帰宅時や休みの時、食事などやれることは出来るだけ任しています。 しかし少しでも手助けできるように、6月より 料理学校にも通い始めましたが、今のところ たいした力にはなっていないようです。 浄土真宗大谷派の門徒になって、朝昼晩の お内仏へのお参り、命日、春秋のお彼岸のお参 りは当然ですが、その時々に置いて「正信偈」 (しょうしんげ)によるお勤めをしなければ ならないので、これを覚えるのがそう簡単に はいきません。

そもそも、これはお経ではなく偈頌(うた) らしいのです。これには節があるのです。私に とって声を出し偈頌(うたう)のは苦難です。

又、お勤めの対象は本尊(阿弥陀如来)であり死去した人ではないとのことです。浄土 真宗大谷派には他宗とはだいぶん違う決まりがあり、これを覚えていくのにも時間がかかりそうです。

子供の頃は日蓮宗だった私にとつては、位牌(過去帳がある)がなく、戒名(法名がある)がないのは奇妙でした。いずれにしても毎日毎日が勉強であり、まともな信徒になるのは相当時間がかかりそうであり、残り時間で済むかどうかわかりません。

この1年で新しくやるべき事がだいぶんはっきりしてきたので、今後は年間スケジュール化していきます。パソコンで毎月の曜日いりカレンダーを作っていますので、これで5年間ぐらいの計画を作りたいと思っています。

これを作るにあたって少ない時間を有効利用するため次のような原則を考えました。

- 1. 原則晴天の時は屋外活動を、雨天の時は 屋内活動を(天候により計画変更有)
- 2. 市、町内会等の課外行事には積極的参加 をする
- 3. 新しい課題に取り組む
- 4. 透析日を最優先 (帰宅後は屋内活動)
- 5. 睡眠時間は5時間(12時~5時)
- 6. 月 2 回は遠距離 (日帰り) ドライブを する
- 7. 3 か月に1回は1 泊旅行をする

ただ、ぼんやりテレビを見ながら毎日を過ごしていてはやがて動けなくなり、また認知症になったりして子供達に迷惑かけてしまうので、とにかく、体と頭を出来るだけ使う生活をしようと考えました。今のところ次のことを実行しています。

- 1. 浄土真宗の正信偈を覚えるため CD を 使い毎日お勤め、浄土真宗の勉強 (講 習会参加)
- 2. 料理教室(毎月1回 6月~3月)料 理の実施
- 3. 写真教室 (NHK 6か月)
- 4. 孫のフォトブック作り(4人)
- フィットネスクラブ、ウオーキングの 継続
- 6. 庭作り (庭のレイアウト変更・季節 の花作り)
- 7. 草刈り機、耕耘機、噴霧器、の準備(体 力補強) 等々

年間約200日が丸々使える日ですから、出来るだけ有効に使わないと結果がなかなか見えないのでは、1年間が瞬く間に過ぎないように頑張りたいです。

早速というわけではありませんが 11 月 20 日、21 日で京都東本願寺へ修復法要のお参り に行きます。

尚、透析者は毎月2回の血液検査、1回の心電図、胸部レントゲン検査、及び年1回の心臓、肝臓等のエコー、骨密度、その他生理的検査を実施しています。

又、自己申請で胃カメラと大腸カメラを2年間に1回実施していますが、今のところどれも特に問題はありません。

平成 28 年度支部例会報告



11月1日(火)・2日(水)の両日に第17回九州支部例会を泉都武雄市で開催した。

当日は今秋一番の冷え込みで本格的な秋冬の前触れを予感させる一日でした。

会場のホテル「春慶屋」に集合し例会開会前の時間 を活用し上野さん真部さんの車に分乗し市内名所散 策へと向かった。

•「御船山楽園」

佐賀鍋島藩第28代武雄藩主鍋島茂義公が3年余の歳月をかけて造った「池泉回遊式庭園」として壮大で荘厳な「御船山楽園」は九州一紅葉の美しい公園としてその名を成しています。

その美しい「御船山楽園」の紅葉を楽しめる「ハズ」 だったのですが残念乍ら紅葉には今しばらくの時間 が必要でした。深緑の美しい形をした御船山を眺めな がら楽園を後にした。



御船山をバックに

•「武雄神社」

天平3年(735年)創建とされている。 源頼朝が平家追討の祈願へ感謝して送った「御教書」 が文化財として残っている由緒ある神社。武雄市内 では最も古く武雄五大明神とも呼ばれ霊験あらた かな神社でした。

・「武雄の大楠」

武雄神社の竹林の小道を抜けると突如として雄大で威厳に満ち溢れた迫力満点の「大楠」に出会う。

市 木 丞 記

武雄神社の御神木で樹齢3000年・樹高27m・根回り26mそして根元の穴の奥行は12畳もの広さがあり天神様が祀られている由。県内一のパワースポットとの事。

•「武雄温泉楼門」国重要文化財指定物

東京駅・日本銀行等を設計した辰野金吾の作品で大正4年の創建・釘を使用しない天平式楼門・武雄温泉のシンボルです。



武雄温泉楼門の前で

「秋季例会」

昭和天皇ゆかりの宿を標榜するホテル「春慶屋」の 名湯に浸り例会。出席者13名打ち揃った所で例会と 懇親会を開催した。

- ・原会長よりカネカの中間決算の概要・各事業部の業 況等について説明を受けた。出席者はカネカの現況 を聞く・知る機会は少なく大いに参考になりました。
- ・中村支部長から九州支部の活動概要が報告された。 中でも会友諸兄の病気治療中の話は心痛むものが ある。各位健康に留意され楽しい日々を過ごして下 さい
- ・懇親会は遠来の客人武田さんの乾杯の音頭で幕開けとなりました。
- 近況報告の中で
- ・池田さん (熊本在住) の熊本地震の体験と日々の復興への話は会員に参考となった
- ・真部さんの1ヶ月に3回のホールインワン達成は 羨望の的になり会場は盛り上がり賑やかになりま した。
- ・中締めは九州支部創設に尽力され遠来の出席を頂いた石原さんにお願いした。
- 2 次会は幹事部屋で有志が集まり盛り上がったが、 翌日ゴルフ組が多かったため、次回の集まりでの再 会を誓ってお開きになった。 以上

H28 年 秋季鐘華山九会コンペ成績報告 上 野 與志隆 記



1. 開催日時: 平成28年11月2日(水)

2.場 所:若木ゴルフ倶楽部 (佐賀県武雄市)

3. 成 績: 天候 快晴

順位	参加者	成績 (NET)
優勝	広政 誠	75.0
2	真部 邦則	76.6
3	上野 與志隆	77.2
4	竹内 久善	79.2
5	池野 治彦	80.4
6	王寺 常雄	81.4
ВВ	武田 敏光	83.0
8	坂本 正志	84.2

4. 講評

- ① 原会長風邪による無念の不参加により、2組8名のコンペとなった。1組はフロントから打つ老人組、2組はレギュラーから打つ若者組。若木ゴルフ倶楽部は武雄温泉より車で30分の丘陵コース。日本女子プロツアーのTポイントカップレディズでも有名。アウト、イン共に、あがり2ホールは池にインコースに、あが良い。特にインコースに、戦めが良い。特にインコースに、リッキーなところはあるも、面白いである。ところが初めにはレイアウトが判らである。ところが初りした。ティーショットがもう一寸であるのだが。
- ② 一組目は池野、王寺、広政、上野選手。

もうすぐ91歳を迎える池野選手はティ ーショットでは他選手と競い合うが、ラ フからのアプローチがピンに絡まず苦 戦。アップダウンのあるところでは流石 ペースダウン、途中見回りの若い女性か ら睨まれたが、完走した。王寺選手は1 4番バンカーで6発叩きのギブアップ が痛い。ナイスショットが谷底や傾斜面 に行ってエネルギーを消費し、とうとう 最後は疲れでティーショット不安定に なってしまった。広政選手は完璧で安定 したティーショット。しかし、アプロー チがピンに寄ったり、寄らなかったりと 苦労。手のけがの所為にはしないという が痛々しいプレー。しかしハンディの運 に恵まれ見事優勝。ティーショットの飛 距離で他を圧倒した上野選手は出来過 ぎの好スコアを残したが、ダブルペリア のハンディに泣かされた。

- ③ 二組目は、真部、竹内、武田、坂本選 手。ショットが安定しているのは真部選 手だけ。本人、状態は普通だったがコー スに負けたとの事。内容は前半の3パッ トを4回もしたのが痛かったようだ。ロ ングヒッターの竹内選手は相変わらず バラツキ大。OBか、OBが助かっても その後のバタバタでスコアはまとまら ない。武田選手は練習を充分積んで関西 から参加したものの実戦では苦労。バン カーでの大たたきでギブアップしたり、 シャンクで散々。「スイングがはやいの かなあ」と反省しきり。坂本選手は昨日 の名古屋出張が祟ったか、ボールは左右 にぶれる。「スローペースの前の組に打 ち込んではいけないので打ち分けた」と の言い訳。次回はBBを狙うというが、 精神修養も大事。
- ⑤ 優勝賞品宝石の取り切り戦は広政選手に軍配が上がり、持ち運びご苦労様。
- ⑥ 楽しいゴルフの後の集合写真はクラブ ハウス前にて、解散前の疲れ切った姿 で。 以上

【 H28 年度支部活動報告 】

年	月	日	活動內容			
28	01	27	(鐘華会全体役員会)			
	02	01	(鐘華 74 号)			
	02	09	支部幹事会 (黒崎にて)			
	04	25	柳川散策(8名)懇親会(9名)			
	04	26	第 15 回山九会 GC(佐賀 CC 6 名)			
	05	20	支部だより 30 号発行			
	07	06	支部幹事会(福岡にて)			
	08	01	(鐘華 75 号)			
	11	01	第 17 回支部例会(武雄温泉 14 名)			
	11	02	第 16 回山九会 GC(若木 CC 8 名)			
	11	20	支部だより 31 号発行			

(特記事項)

- * 柳川散策、第 15 回山九会 GC は支部だより 30 号に 掲載
- * 例会、第16回山九会GCは支部だより31号に掲載
- * 会員の異動

無し

【 28 年度支部活動費半期実績 】

項目	27年実績	28 年予算	半期実績
支部だより関連	13,318	15,000	4,683
例会通信費	4,210	5,000	0
例会写真代他	1,240	1,500	795
春に行事関連	4,452	4,500	5,142
幹事会交通費補助	4,000	4,000	0
その他	130	0	0
合計	27,350	30,000	10,620

【 特記事項 】

*特になし

【 定例役員会報告 】

- ◇ 平成 28 年 8 月 1 日、カネカクラブにて定例役員会が開催された。(九州支部は支部活動報告のみ)
- ◇ 主な内容は下記の通りです。
- ① 会長挨拶
 - ・社会貢献活動:鐘華会の主要な活動として社活委員会を発足させた。
 - ・若手・女性参加への働きかけについては、支部によって違いがあるので、各支部でやりやすいやり方で 取り組んでいただきたい。
 - ・HPについては、全体を改訂するのが困難なため、 本部 HPの改訂を検討していく。
 - ・カネカとの交流について、経済的な面だけではなく、いろんな意味で交流を発展させていく必要がある。
- ② 本年度会計中間報告(省略)
- ③ 鹿島新支部長高木さん挨拶
- ④ HP 更新についての説明 トップ画面は事務局が担当し、外部専門業者に更新を依頼する。
- ⑤ 各支部の上期活動報告と下期計画
 - (高砂) HP 管理者の交代を機会に情報更新の活性化 を図る。今年度から女性幹事を投入した。
 - (大阪) 今年初めて「鐘華会テニス大会」を開催した。 支部例会は鐘友会と共同開催で、8月27日開催 予定。
 - (滋賀) テニス同好会、カラオケ同好会の活動開始。 下期からグランドゴルフ同好会を発足させる予 定。
- (鹿島) 上期は花見会を実施。ワイワイ会、ゴルフ大会、ボウリング大会を実施予定。
- (本社) クラブは活動が消極的な状況。例会は、平日 勤務の会員に配慮して、土曜日に開催予定(10月 22日)
- (東京) 支部 HP の充実。女性や働いている人が参加 したくなる同好会を発足させる予定。

あとがき

- ・真部さんにこの快挙をギネスブックに登録したら、と言ったところ「まだ続きがあるかも知れないのでその時まで待つ」とのこと。 $\mathsf{t}^i \gamma_{ \mathsf{fyy} } \Sigma (^{\circ} \omega^{\circ} I)$ 「鐘華」にも掲載され全会員にも紹介される予定。
- ・成相さんの顔写真はパソコンの自撮りとのこと。近代兵器を使いこなされているのに驚き。また、計画を立て 積極的に生きておられることに、感心し自省した次第。
- ・楽しかった例会も終わり、今年も残り少なくなりました。これから寒くなるようですので、皆さんご自愛ください。では、少し早いですが良いお年をお迎えください。